次回開催予定
COMING SOON
■ 日時 3月9日（金） 19:00開始
■ 講師 義家弘介 氏
■ 会場 ニューグランド

2月9日
金曜日
2007年（平成19年）
例会式典委員会
第1号

JCI 例会式典新聞

The Regular Meeting and The Ceremony News

主な記事
■ 柳本監督参上
■ 顔 齋藤理事長
■ 新年三部作閉幕
■ 連載 我が郷土①

全日本女子バレー柳本監督参上!!

組織の結束力
～大事なチームワーク～

社団法人横浜青年会議所2月例会に、記憶に新しい先日の2006年世界バレーで見事6位入賞にチームを導いた、全日本女子バレーの柳本監督が登場。2003年の監督就任以来、世界の強豪を相手に戦い、また同時に数々の実績を残してこられた柳本氏に、組織、グループをまとめる秘訣やコミュニケーション、チームワークの重要性についてお話し頂く。

2007年度第1回目となる今回の例会、最大の目的は「メンバーの結束力を高めること」にあると、例会式典委員会岡部祥司委員長は話す。そこで、メンバー共通の意思、方向性を改めて確認するため、日本一結束力のある全日本女子バレーチームを率いる柳本監督を講師に招くこととなった。

選手たちにアドバイスする柳本監督

柳本氏は、1973年全日本に召集されてから、全日本、アジア大会、オリンピックで輝かしい成績を修め、91年以降、現役を退き監督に就任してからも、東洋紡を日本一に導くなど、その手腕を存分に揮う。全日本の監督に就任してからもその勢いは止まらず、2004年には低迷していた全日本女子バレーチームを、2大会振りにアテネオリンピックの出場を獲得し、5位という好成績を修めるに至る。その原動力は、まさに「チームワーク」だという。コミュニケーションを軸としたその戦略は、我々JCメンバーにとってもそれぞれの事業の成功に欠かせない最も重要な要素のひとつなのではないだろうか。2007年度のスタートを飾るに相応しく、メンバーの足並みを揃える重要な機会である。今回2月例会の実行委員長は、小松寛副委員長が担当。（光）

全日本女子バレーボールチーム監督
柳本 晶一 さん

やなぎもと しょういち 大阪市大正区出身の元全日本男子バレーボール代表選手で、現全日本女子バレーボールチーム監督。テレビ中継のニックネームは、「全日本女子バレー復活請負人」。現役時代のポジションはセッター。大阪商業大学付属高校卒。55歳。

今日の顔

2006年12月6日、パンパシフィックホテル横浜にてアワードセレモニーが行われ、2006年度岩城理事長から2007年度新理事長齋藤智範君にその歴史のバトンが引き継がれた。齋藤君は1993年4月に横浜青年会議所に入会。泉区在住の37歳、AB型。

2007年度第56代度理事長齋藤智範君

2007年の運営テーマとして齋藤君が掲げたのは、ズバリ「郷土愛」。今月12日に開催された新年三部作の式典の場で、昨今は、テレビや新聞を騒がす青少年の凶悪犯罪やいじめによる子供の自殺、親による子供の虐待、殺害、企業の不祥事、聖職者による破廉恥な犯罪など、常識ではもはや考えられないような出来事が発生している。なぜ起こるのか。そこに着目し、利己主義的なものの考え方に問題があるのではと強く主張し、ぶるさとに思う気持ちが、道徳心、公共性につながり、地域コミュニティの連帯意識の高揚や思いやりを育んでいくのではないか、また、そうした地域における教育、コミュニティの創造に対して横浜青年会議所としての役割が存在するのではないかとその所信を力強く表明した。

「郷土」を愛するという極シンプルな気持ちが、実は人々の心をより豊かにし、明るい社会の創造に向けてとても大切だと話す齋藤君に、大いに期待が寄せられる。（光）

横浜開港祭成功祈願

伊勢山皇大神宮

今月13日、第26回横浜開港祭成功祈願祭が横浜の総鎮守、伊勢山皇大神宮（西区宮崎町）にて厳かに執り行われた。冬空の晴天の中、祈願祭に集まったのは、齋藤理事長はじめ総勢51人。開港祭の成功を祈祷した後、今年から新しくなった開港祭事務局の事務所開きを引き続き行い、6月の開催本番に向けて、本格的なスタートを切った。今年はTHANKS TO THE PORT」というテーマで「郷土愛」を育むお祭りを開催予定。（光）

▲齋藤理事長（前列左から三人目）と横浜青年会議所メンバー（伊勢山皇大神宮鳥居前）

京都にJCメンバー集結
～2007年度京都会議開催～

全国から集まるメンバー（京都国際会館）

全国714LOM、4万人のJCメンバーが京都に集結。社団法人日本青年会議所2007年度京都会議が今月18日から21日の4日間、国立京都国際会館（京都市左京区）にて盛大に開催された。新年度のスタートとなる通常総会、正副会頭会議、理事会や、第56代会頭奥原祥司君の会頭所信などさまざまなセミナーが行われ、メンバー同士の情報交換や懇親を深める場として賑わった。（光）

発表！！２００６年横浜５大ニュース

1位 映画「ヨコハマメリー」が全国ロングランヒットへ
2位 横浜ベイクォーターがオープン 好調を維持
3位 氷川丸とマリンタワーが営業終了 保存へ
4位 北仲B&Wが終了、ZAIM・本町ビルシゴカイなどが継承
5位 横浜FC、J2でリーグ優勝しJ1へ昇格

ヨコハマ経済新聞編集部セレクト

◀新年祝賀会場での横浜青年会議所メンバー（横浜ロイヤルパークホテル3F鳳翔）

新年三部作閉幕
来賓多数出席

今月12日、横浜ロイヤルパークホテルで恒例の新年三部作（定時総会、新年式典、新年祝賀会）が無事開催された。式典には、来賓として松沢成文神奈川県知事や、中田宏横浜市長などが会場に駆けつけ、メンバーに向けて横浜青年会議所に寄せるその期待の高さを述べられた。

会場には来賓の他に来訪JCやシニアのメンバーも多数集まり、大盛況ならうちに閉幕を迎えることとなった。（光）

連載 我が郷土①

横浜市のほぼ中央に位置し、人口、面積ともに18区内一番小規模な区です。戦災による被害が最も大きかったため、高度成長と共に目覚しく発展し交通の要の一つとなった結した街です。現在では均となって周辺にやはり商業が集ちづくりが進む「みなとみらい21地区」の他、歴史や下町情緒を感じさせる街など、エリアによって様々な特徴が存在します。（市）

西区

横浜駅新しいまち

官公庁が集積する横浜市の中心区。三渓園や赤レンガ倉庫、観光施設がいま存在しています。また、外国人の登録数が人口の約1割など、国際色豊かな一面もぞくぞくと増えている。他、1859年の開港以来、西洋文明を取り入れる窓口として横浜の行政と経済の中心として今もなお発展し続けています。（市）

中区

シリーズ 例会①

社団法人横浜青年会議所が誕生してから、現在に至るまで継続して開催されている「例会」。皆様の中にはすでに当たり前のものとなっている人もいるかとは思いますが、そもそも「例会」とは何でしょう。その開催の意義とは何でしょう。

2007年度例会式典委員会では次のように考えました。例会は日頃、委員会毎にさまざまな活動を行っているメンバーが、毎月1回一同に会して、横浜青年会議所の方向性を確認し、メンバー同士の交流を深め、組織としての結束力を高める場である。」

その観点から、リーダーである理事長の発言に耳を傾けること」が、例会開催にあたって最も重要なポイントであると考えています。そのため、スタートの時点にはメンバー全員にお集まり頂いているという状況が、絶対不可欠になります。

今後、例会式典委員会では例会を開催させて頂くにあたって、一人でも多くのメンバーに出席して頂くことはもちろん、常に皆様が新たな「気付き」を発見して頂けるような例会を企画、運営していきたいと思っていますので、ご協力お願いします。（岡）

編集後記

皆様、本日は2月例会にお越し頂きましてありがとうございました。いよいよ2007年度の事業も本格的に始動です。さて、編集後記ですが、毎月、神奈川のおもしろ話を紹介していきます。今回はまずこれで。湘南がどこからどこまでなのかハッキリしない。うーん、これ説明できる人っています？（光）